

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公開番号】特開2011-215214(P2011-215214A)
 【公開日】平成23年10月27日(2011.10.27)
 【年通号数】公開・登録公報2011-043
 【出願番号】特願2010-80985(P2010-80985)
 【国際特許分類】

G 0 3 B 21/00 (2006.01)

F 2 1 S 2/00 (2006.01)

F 2 1 Y 101/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 21/00 D

F 2 1 S 2/00 3 1 1

F 2 1 Y 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月22日(2013.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

複数の光源のうち1灯もしくは複数灯の光源を点灯させたときの光束で照明された画像を投射する画像投射装置において、

前記複数の光源を各々駆動する光源点灯制御手段を備えており、

該光源点灯制御手段が、

前記複数の光源から放射される光量を計測する光源光量計測手段と、

前記光源光量計測手段の計測履歴を記憶する記憶手段と、

を有しており、

前記光源点灯制御手段が、前記記憶手段の計測履歴からの信号に基づいて、前記複数の光源のうち一部を選択して点灯させることを特徴とする画像投射装置。

【請求項2】

前記光源点灯制御手段が、前記複数の光源から放射される光量の履歴管理を行う光源光量管理手段を備えており、

前記光源光量管理手段は、前記光源光量計測手段で計測した前記複数の光源から放射される光量よりそれぞれの光源の光量減衰量を求めて前記複数の光源の管理を行うことを特徴とする請求項1に記載の画像投射装置。

【請求項3】

前記光源点灯制御手段は、前記光源光量管理手段で求めた光源の光量減衰率の小さな光源を他の光源より優先的に点灯制御することを特徴とする請求項2に記載の画像投射装置。

【請求項4】

前記画像を投射するときの投射モードの設定又は選択をする投射モード設定手段を備え、前記光源点灯制御手段が、前記計測履歴と前記投射モード設定手段からの情報に基づいて、前記複数の光源のうち一部を選択して点灯させることを特徴とする請求項1に記載の画像投射装置。

【請求項 5】

前記光源光量管理手段は、前記光源光量計測手段で計測した前記複数の光源から放射される光量よりそれぞれの光源の光量減衰量を求めて又は前記複数の光源から放射される光量よりそれぞれの光源の絶対光量を求めて前記複数の光源の管理を行うことを特徴とする請求項 4 に記載の画像投射装置。

【請求項 6】

前記投射モード設定手段には、前記光源から放射される光束による明るさを長期間持続させることを目的とする寿命優先モードと、明るさを長期間持続させることよりも他の項目を優先する明るさ非優先モードとを含み、前記光源選択点灯制御手段は、前記投射モード設定手段により寿命優先モードが選択されたときには、前記光源光量管理手段で求めた光源の光量減衰率の小さな光源を他の光源よりも優先的に点灯制御を行い、前記投射モード設定手段により明るさ非優先モードが選択されたときには、前記光源光量管理手段で求めた絶対光量の少ない方の光源を優先的に点灯制御することを特徴とする請求項 4 又は 5 に記載の画像投射装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る画像投射装置は、複数の光源のうち 1 灯もしくは複数灯の光源を点灯させたときの光束で照明された画像を投射する画像投射装置において、前記複数の光源を各々駆動する光源点灯制御手段を備えており、該光源点灯制御手段が、前記複数の光源から放射される光量を計測する光源光量計測手段と、前記光源光量計測手段の計測履歴を記憶する記憶手段と、を有しており、前記光源点灯制御手段が、前記記憶手段の計測履歴からの信号に基づいて、前記複数の光源のうち一部を選択して点灯させることを特徴としている。

。